

岩国市こども計画（案）に対するパブリックコメントについて（回答案）

令和6年12月16日から令和7年1月20日まで、市民の皆様からご意見（パブリックコメント）を募集した結果、次のとおり提出されました。

- ・ 提出者数 2人（メール）
- ・ 意見の総数 31件

第1章 計画の趣旨

意見の概要		市の考え方
P1 計画の趣旨	現行の文章では、計画策定の背景や経緯が記述されているだけで、趣旨を示す文章になっていない。	「こども・若者に関する施策を総合的に推進する」ことを趣旨として記載していますが、ご指摘のとおり策定の背景が多いため、表題を「計画の背景と趣旨」へ変更します。
P2 計画の性格	この計画がどのような性格を持つものなのかについて記述がない。	表題を「計画の位置づけ」へ変更します。
P4 計画の策定体制	「5計画の策定体制」は、「5計画の策定体制と基礎調査の実施」とした方が望ましい。	会議、調査、パブリックコメントを経て策定していることを示しているため、原案のとおりとします。
	「策定しました（完了）」は「策定しています」、「実施しました（完了）」は「実施しています」、「本計画に関する意見を求めます（未完了）」は「求めています」として時制を失くした方がよい。	「本計画に関する意見を求めました」完了に統一します。

第2章 こどもを取り巻く状況

意見の概要		市の考え方
P6 (1)人口の推移	基本的な統計値の動向は、図表を見なくてもわかるような記述が望まれる。統計の分析、記述には、最新年次の基本的な統計数値を明らかにした上で、推移の変化について記述することが求められる。 図表に記している2000年から2020年に至る長期的な視点からの分析、記述が必要である。	ご意見を参考に修正します。以降の記述につきましても同様に修正します。

P7 (2)人口ピラミッド	人口の推移は国勢調査を使用し、人口ピラミッドは住民基本台帳の統計を使うのはどういう理由からか。	人口の推移につきましては、長期の期間の傾向、国・県と比較するために国勢調査を使用し、人口ピラミッドにつきましては、直近の数値をみるために住民基本台帳を使用しています。
P8 (3)出生数の推移	出生数の統計はもう少し長期的な傾向をみるべきではないか。新型コロナウイルス感染拡大の影響について記述がないが、これは岩国市では新型コロナウイルスの影響が認められなかったということか。	出生数の推移は2010年からの記載に修正しました。出生数減少には様々な要因が影響したものと考えています。
P8 (4)合計特殊出生率の推移	図の合計特殊出生率の値は、期間合計特殊出生率を示しているが、注の定義はコーホート合計特殊出生率であり、定義の修正が必要である。	人口動態統計の解説にあわせて修正します。
	注に「具体的には、岩国市を含むより広い地域である山口県の出生状況を情報として活用し、これと岩国市の出生数の観測データを総合して岩国市の合計特殊出生率を推定しています。」を加え、市民等の理解を得やすくすることが必要である。	ご意見を参考に修正します。
P9 (5)未婚率の推移	未婚率の上昇傾向は、男女とも20～24歳を除いて緩やかになっているという記述にすべき。 2020年の男女の未婚率を文章で明示すべき。	ご意見を参考に修正します。
P10 (1)家族累計別一般世帯数の推移	2020年の一般世帯数を明示した上で「2005年をピークに減少」という記述が望ましい。 家族累計別の世帯数の動向については、一つの文章の中で単独世帯、核家族世帯、その他世帯それぞれに記述すべき。	ご意見を参考に修正します。
P11 (2)ひとり親世帯の状況	ひとり親世帯の大半は母子世帯と明示すべき。	ひとり親世帯の推移を示しているので原案のとおりとします。
P12 3女性の就労状況	25歳以上の労働力率は、2010年から2020年にかけて増加傾向にあることを明示すべき。	ご意見を参考に修正します。

P13 (1) 保育園・認定 こども園・幼稚園 の入園児童数の 推移	2019 年以降でみた場合、保育園、認定こども園の入園児童数は増加傾向にあるとは言えない。ただし、入園児童数の割合なら増加傾向にある。	ご意見を参考に修正します。
P15 (6) 児童虐待相 談対応件数の推 移	児童虐待に関する通告対応件数について記述するなら、それを示す図表を用意すべき。	ご意見を参考に修正します。
P16 (8) 不登校児童 生徒数の推移	不登校児童生徒数の近年の急激な増加は、何が原因か触れるべき。	個々によって原因が異なるため、原案のとおりとします。

第 3 章 第 2 期計画の評価

意見の概要		市の考え方
P17 (1) 児童虐待防 止策の充実	親や地域住民に対する虐待防止の啓発活動が、「保育園、幼稚園、小・中学校において、虐待に対する認識を深めました。」という記述の論理が理解できない。わかりやすく記述してもらいたい	ご意見を参考に修正します。
	課題としての記述のとりまとめ方として、「重要です。」という表現に違和感がある。「必要です。」「必要となります。」ならよい。 この計画案は、基本的に「です、ます調」であるが、ところによっては「重要である。」という記述のところもあるので、統一されたい。	ご意見を参考に修正します。

P18 (2) 子育てを支える地域社会の形成	放課後子供教室は、2022（令和 4）年度から 2023（令和 5）年度に全事業数は減少していますが、参加児童数は 730 人増加し」の記述における全事業数が減少、参加児童数が増加は、どのような要因構造になっているのか説明されたい。	放課後子供教室の実施状況について 【表 放課後子供教室の実施状況】の全事業数、延利用人数を次のとおり修正します。 <table><tr><td></td><td></td><td>2020 年度 （令和 2 年度）</td><td>2021 年度 （令和 3 年度）</td><td>2022 年度 （令和 4 年度）</td><td>2023 年度 （令和 5 年度）</td></tr><tr><td>全事業数</td><td>事業</td><td>237</td><td>289</td><td>263</td><td>234</td></tr><tr><td>延利用人数</td><td>人数</td><td>2,605</td><td>2,590</td><td>2,613</td><td>2,769</td></tr></table> あわせて文章を修正します。 要因構造につきましては、事業数は減少したものの参加児童数が増加した教室もあり、また、令和 5 年度に新たに 1 教室増えたことも参加児童数が増加した要因と考えています。			2020 年度 （令和 2 年度）	2021 年度 （令和 3 年度）	2022 年度 （令和 4 年度）	2023 年度 （令和 5 年度）	全事業数	事業	237	289	263	234	延利用人数	人数	2,605	2,590	2,613	2,769
		2020 年度 （令和 2 年度）	2021 年度 （令和 3 年度）	2022 年度 （令和 4 年度）	2023 年度 （令和 5 年度）															
全事業数	事業	237	289	263	234															
延利用人数	人数	2,605	2,590	2,613	2,769															
P19 【アンケート調査結果】	「子育てのしやすさ」と「安心して子育てができると思う」はどのような関係にあるのか。図のタイトルは、後者の「安心して子育てができると思う」とすべきではないか。 岩国市が「安心して子育てができると思わない」理由として、なぜ「地域全体で子どもを見守る体制がない」だけを取り上げているのか。アンケート調査結果を体系的に分析、整理してもらいたい。	ご意見を参考に修正します。																		
P22 (2) 妊娠から子育てまでの相談体制の充実	『悩みや不安を感じる』と回答した割合は、『かなり悩みや不安を感じる』に『多少は悩みや不安を感じる』を加えた回答した者の割合」とするなど、丁寧に記述してもらいたい。	ご指摘のとおり修正します。																		
P23 【課題】	「こども家庭センターの設置により一体的な相談対応の充実を図ることができました。」は課題ではない。削除すべき	ご指摘のとおり修正します。																		

	「今後も、子育てに関する不安や負担を感じている家庭を、身近な相談の場であるこども」の誤字「ど」を「と」に修正すべき	「こども家庭センター」原案のとおりとします。
P24 (3) 思春期の保健対策及び有害環境対策の推進	「こども・若者の自殺が社会的な課題として挙がっています。」であるが、【主な取組・評価】において記述がなく、いきなり課題として取り上げるのは不自然であるので、前後のコンテキストを整理されたい。	ご指摘のとおり修正します。
P29 (3) 子どもの貧困対策の推進	「子育てに関する相談で頼れる人の有無」について、なぜ「いない」と回答した割合を記述しているのか。「いる」と回答した割合を記述すべき。	頼れる人がいない保護者への支援が重要なため、「いない」と回答した割合を記述しています。
P30	「こどもの居場所を利用したことによる変化」の内容について、小・中学生の「全体」の上位3つを取り上げるのではなく、「小学5年生」「中学2年生」それぞれについて変化の大きい上位3つ4つを取り上げるべきである。	ご指摘のとおり修正します。
P33 (1) 子育て支援サービスの充実	この計画の年号は、基本的に西暦（和暦）で記述されているが、アンケートの図では和暦の表記のみとなっている。統一性を考えるなら、西暦にした方がよい。	ご指摘のとおり統一しますが、西暦（和暦）とすると見にくくなりますので、西暦のみとします。
P34	「教育・保育施設を利用している割合は74.4%」について、「2023（令和5）年度における教育・保育施設を利用している割合は74.4%」と年次を入れるべき。以下同様に。	ご指摘のとおり修正します。
P35・36 (2) 放課後児童教室及び放課後子供教室の充実（新・放課後子ども総合プラン）	【主な取組・評価】については、【課題】との間に整合性を確保できるような記述が必要である。	ご指摘のとおり修正します。

第5章 計画の取組

意見の概要		市の考え方
P54 (3) こどもや子育て家庭にやさしい社会環境の整備	由宇町にふくろう公園のような大きな公園がない。 由宇中近くの由宇川沿いに広い土地があるのでそこを大きな公園にしてほしい。又は、榊八幡宮の近くのいこいの森の遊具が古過ぎて危険で遊べないので作り直してほしい。 また、絆スタジアムに何個もあるような小さい遊具を全公園に設置してほしい。	お問合せにあります由宇川沿いの土地については、市管理用地ではなく、また、由宇管内には、大きな公園として『潮風公園みなとオアシスゆう』があることから、現在、新たな大規模公園を設置する予定はありません。 由宇憩の森の遊具については、老朽化により平成 22 年に撤去し、その後（平成 28 年）、急傾斜地の崩壊区域に指定されたことから、こどもの遊び場として適切でないと考えており、今後遊具の整備の予定はありません。 また、市内には主に街区内に居住される方々が利用される街区公園が 187 か所あり、この公園内にある遊具は設置から 20 年以上経過したものが多く、計画的に老朽化した遊具の修繕や更新を進めております。新たな遊具の設置は現状においては難しい状況ですが、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
P61 (1) 教育・保育の質の向上	取組の追加として「非認知能力を育む幼児教育プログラムの導入」を提案したい。 幼児期に非認知能力を高める教育を受けると、成人後もその効果が続き、社会的な成功や健全な生活につながるという研究（ノーベル経済学賞受賞のジェームズ・ヘックマン）がある。非認知能力とは、自己肯定感やチャレンジ精神、協調性、自己管理能力、課題解決力など の能力である。幼児期から小学生のうちに鍛えることで、豊かな人生を送る基礎を培うことができる。	市としましても、こどもが健全に成長し、たくましく社会の中で生き、活躍できるよう、乳幼児期の教育の重要性を踏まえ、教育・保育の質の向上に努めてまいります。貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。